

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
法学基礎演習	楠本 孝	講義	2		1, 2, 3, 4	1, 2, 3, 5	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	山口厚『刑法入門』を教材として、ゼミ生全員で分担して精読する。 各ゼミ生が、『刑法入門』の担当部分をレジュメにまとめ、ゼミで報告する。 その報告について、ゼミ生全員で討論する。						
到達目標	犯罪と刑罰に関する基本問題を掘り下げて理解することを目標とする。 刑法の講義で扱いきれなかった刑法学の争点について検討するとともに、刑法を体系的に理解することをめざす。						
回	学習内容						
1	基礎演習の目的						
2	罪と罰・刑事手続のあらまし						
3	法的な禁止の対象—犯罪						
4	法的な禁止の手段—刑罰						
5	罪刑法定主義とは						
6	遡及処罰の禁止						
7	実体的デュープロセス						
8	犯罪の成立ち・結果						
9	因果関係						
10	作為と不作為						
11	故意と過失						
12	未遂と共犯						
13	犯罪の成立が否定される場						
14	違法性阻却の一般原理						
15	正当防衛						
予習内容 復習内容	教科書で予習し、ゼミでの討論のノートで復習する。						
教科書	山口厚『刑法入門』（岩波新書）						
成績評価	ゼミでの報告の内容、他のゼミ生の報告へのコメントの内容など、ゼミへの貢献度を総合的に評価する。						
実務経験							
その他 特記事項	「刑法」及び「刑事政策」を受講すること。						